

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の597億8,844万1千円に比べ、183億421万2千円、30.6%の減となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成24年度 当初予算額 (A)	平成23年度 6月補正後 (B)	比 較	
			増 減 (A) — (B)	伸 び 率 (A) — (B) / (B)
病 院 事 業	7,670,401	22,720,549	△15,050,148	△66.2
水 道 事 業	16,596,523	20,334,129	△3,737,606	△18.4
工業用水道事業	12,058,196	12,719,313	△661,117	△5.2
電 気 事 業	5,159,109	4,014,450	1,144,659	28.5
合 計	41,484,229	59,788,441	△18,304,212	△30.6

(注) 平成23年度当初予算は骨格予算のため、6月補正後ベースで比較してあります。

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、こころの医療センター、一志病院、指定管理者制度を導入した志摩病院の3病院を管理運営し、県民が健康で文化的な社会の実現に貢献するため、良質で満足度の高い医療の継続的な提供に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 836床

(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	207,320人	568人
外来患者数	160,618人	606人

イ. 収益的収支 収入 5,757,838千円 資本的収支 収入 1,383,721千円

支出 6,030,563千円 支出 1,639,838千円

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益29億7,604万1千円、他会計補助金、負担金などの医業外収益27億8,179万7千円です。

一方、収益的支出は、職員給与費27億4,155万8千円、薬品費などの材料費3億1,597万8千円、事業運営経費18億7,877万7千円、施設・器械備品などの減価償却費6億7,692万7千円等の医業費用56億3,960万3千円、支払利息などの医業外費用2億7,328万5千円、及び退職給与引当金に係る特別損失1億1,767万5千円です。以上の結果、収支差引で、2億7,272万5千円の当期純損失を計上してお

ります。

次に、資本的収入は、企業債9,659万円、県費負担金7億8,533万1千円、固定資産売却代金1億5,180万円、短期貸付金返還金3億5,000万円です。

一方、資本的支出は、病院増改築工事費4,351万3千円、各病院の医療機器購入など資産購入費9,021万7千円、企業債償還金11億2,970万8千円、看護師等修学資金貸与費に係る長期貸付金2,640万円、短期貸付金3億5,000万円です。

平成24年度の事業運営につきましては、次のとおり行います。

ア．こころの医療センター、一志病院及び病院事業庁（県立病院課）

今後も県立県営が継続されるこころの医療センターと、当分の間は県立県営で運営されることになる一志病院及び病院事業庁（県立病院課）については、「中期経営計画（平成22～24年度）」に基づいて策定した平成24年度年度計画に従って運営を行います。

イ．志摩病院

志摩病院の病院運営については、基本協定等に基づき、その状況を把握・評価し、必要に応じて指定管理者に指示・指導を行い、適切な病院運営が図られるように努めます。

（ 2 ） 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市4町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量138,150m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

ア．業務の予定量

年間総給水量 76,711,685m³

1日平均給水量 210,169m³

イ．収益的収支	収入	10,222,914千円	資本的収支	収入	2,305,142千円
	支出	8,986,039千円		支出	7,610,484千円

収益的収入は、給水収益99億985万6千円とその他営業収益を合わせた営業収益99億1,330万1千円及び受託工事収益1億7,262万9千円等の営業外収益3億961万3千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用75億4,485万4千円と支払利息等の営業外費用14億3,918万5千円が主なものです。以上の結果、収支差引12億3,687万5千円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、一般会計出資金20億6,836万2千円や工事負担金1億6,623万6千円が主なものです。

資本的支出は、北勢水道改良事業等の建設改良費25億4,449万5千円と企業債等の償還金50億

6,598万9千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北勢水道等の改良事業のほか、南勢水道拡張事業を実施することになっています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H24	701,467	701,467	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H24	867,527	867,527	既設施設の改良
中勢水道改良事業	H24	80,559	80,559	既設施設の改良
南勢水道改良事業	H24	610,625	610,625	既設施設の改良
南勢水道拡張事業	H23～26	741,396	166,236	目標日量1,700m ³

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県内の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等において、施設の計画的な改良や整備を行います。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 97社
- (イ) 年間総給水量 217,778,840m³
- 1日平均給水量 596,654m³

イ. 収益的収支	収入	6,277,832千円	資本的収支	収入	2,058,742千円
	支出	5,548,822千円		支出	6,509,374千円

収益的収入は、給水収益56億3,506万7千円とその他営業収益を合わせた営業収益62億4,845万2千円と受取利息等の営業外収益2,938万円が主なものです。

収益的支出は、人件費、委託料、減価償却費等の営業費用50億2,863万8千円と支払利息等の営業外費用4億8,818万4千円が主なものです。以上の結果、収支差引7億2,901万円の利益を計上しました。

次に資本的収入は、一般会計出資金11億5,687万円や企業債7億4,600万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費35億6,920万7千円と企業債等の償還

金29億4,016万7千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H24	297,339	297,339	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	H24	2,081,198	2,081,198	既設設備の改良
北伊勢工業用水道第二次改良事業	H21～28	11,700,000	727,279	既設設備の改良
多度工業用水道改良事業	H24	188,294	188,294	既設設備の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、宮川第一、第二、第三、長、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の10発電所において水力発電を、三重ごみ固形燃料発電所においてRDF焼却・発電をそれぞれ行っています。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 315,422,786kWh

イ. 収益的収支 収入 3,764,192千円 資本的収支 収入 25,265千円
支出 3,860,267千円 支出 1,298,842千円

収益的収入は、電力料28億5,174万8千円等の営業収益28億5,305万9千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業収益9億255万4千円及び受取利息435万8千円等の営業外収益857万9千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用24億6,929万8千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業費用10億2,183万8千円及び支払利息等の営業外費用2億1,777万円が主なものです。

以上の結果、収支差引9,607万5千円の損失を計上しました。

次に、資本的収入は、長期貸付金償還金2,526万5千円です。

資本的支出は、宮川第二発電所改良事業等の建設改良費7億9,226万7千円と企業債等の償還金5億657万5千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
宮川第二発電所改良事業	H24	438,779	438,779	既設発電所の設備改良

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。

